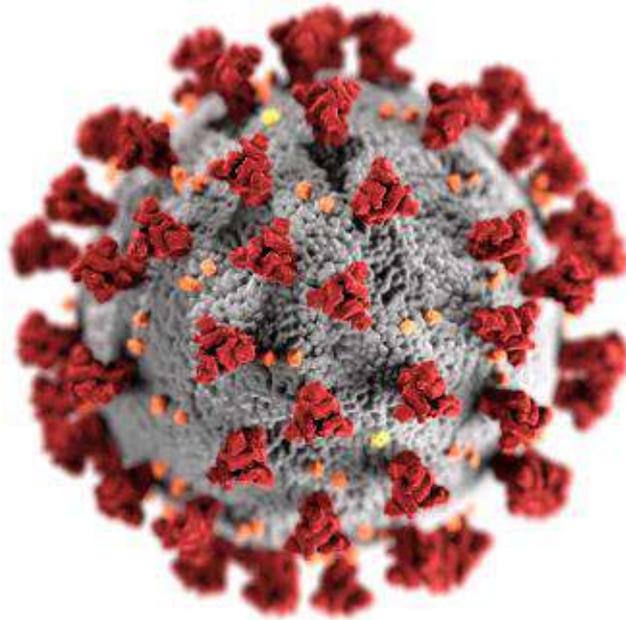


新型コロナウイルス感染症 対策の評価と今後の対応

川内市医師会立市民病院

感染管理認定看護師 中野智子

新型コロナウイルス感染症対策





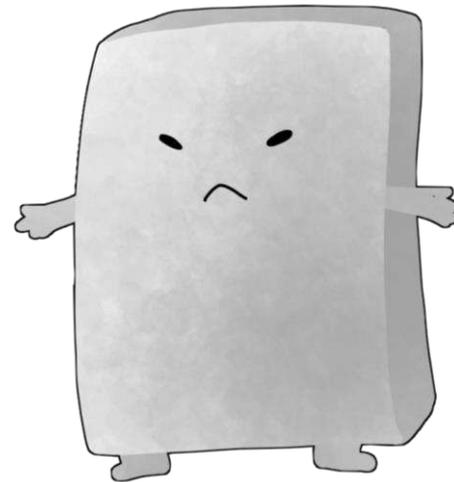
施設内に持ち込まない



施設内で拡げない

施設内に持ち込まない

外からの持ち込み防止
リスクを下げる



- ポスターの掲示、注意喚起
- 面会制限、禁止
- 院内への立ち入り制限
- 体温測定、問診（健康チェック）
- マスク着用
- 入院患者のスクリーニング検査
- 動線分離

入院患者の面会制限、禁止

地域の感染状況を考慮し、病院を利用している患者の状況や感染リスクを判断して、**病院としての方針**を決定していく。



患者を守る

職員を守る

病院を守る

面会制限および解除の**指標**

地域の感染者数、クラスター発生の有無
入院(入所)、通院している患者の状態を考慮



動線の分離

できる限り新型コロナウイルス感染症患者と一般患者とをわけることが望ましい。職員はその方法について共通認識をもち、連携を図りながらあわてず落ち着いて対応していくことが大切である。

飛沫および接触感染をふまえて動線を考える。

空間的分離

時間的分離

無症状者のすり抜け



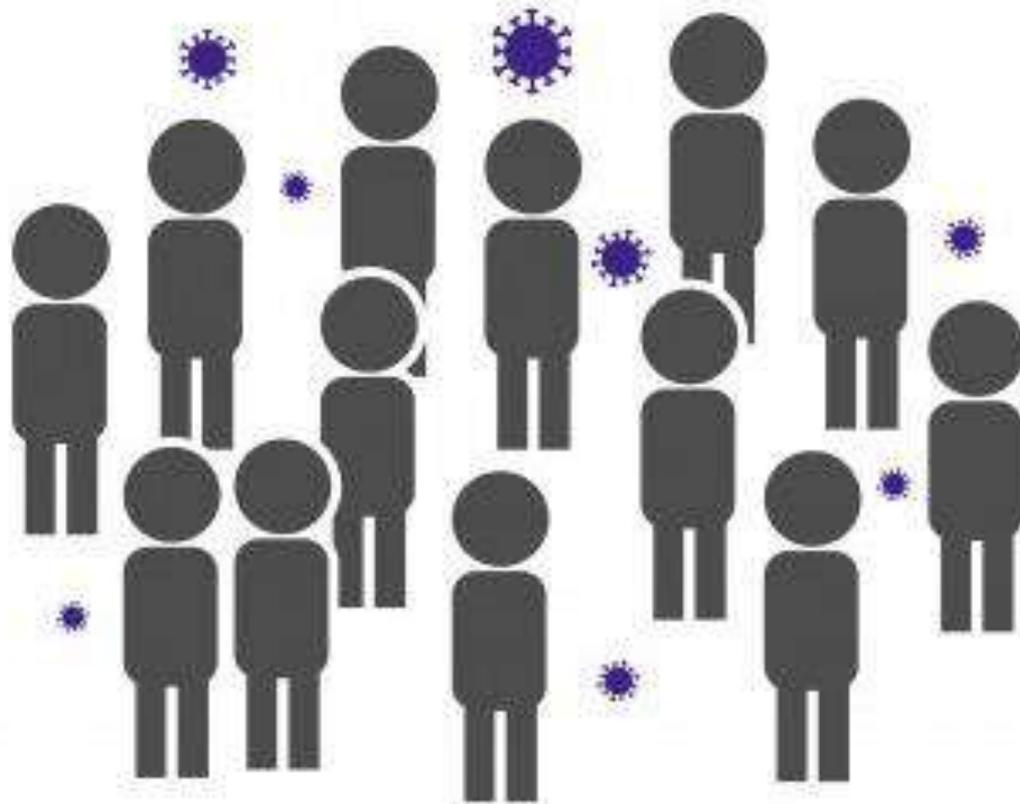
市中感染した**職員**が院内持ち込み



施設内への持ち込みを完全には防止できるもの
ではありません。それを理解しておいてください。
実施している対策を検証して、次に生かせるよう
にしておくといいです。



施設内で拡げない



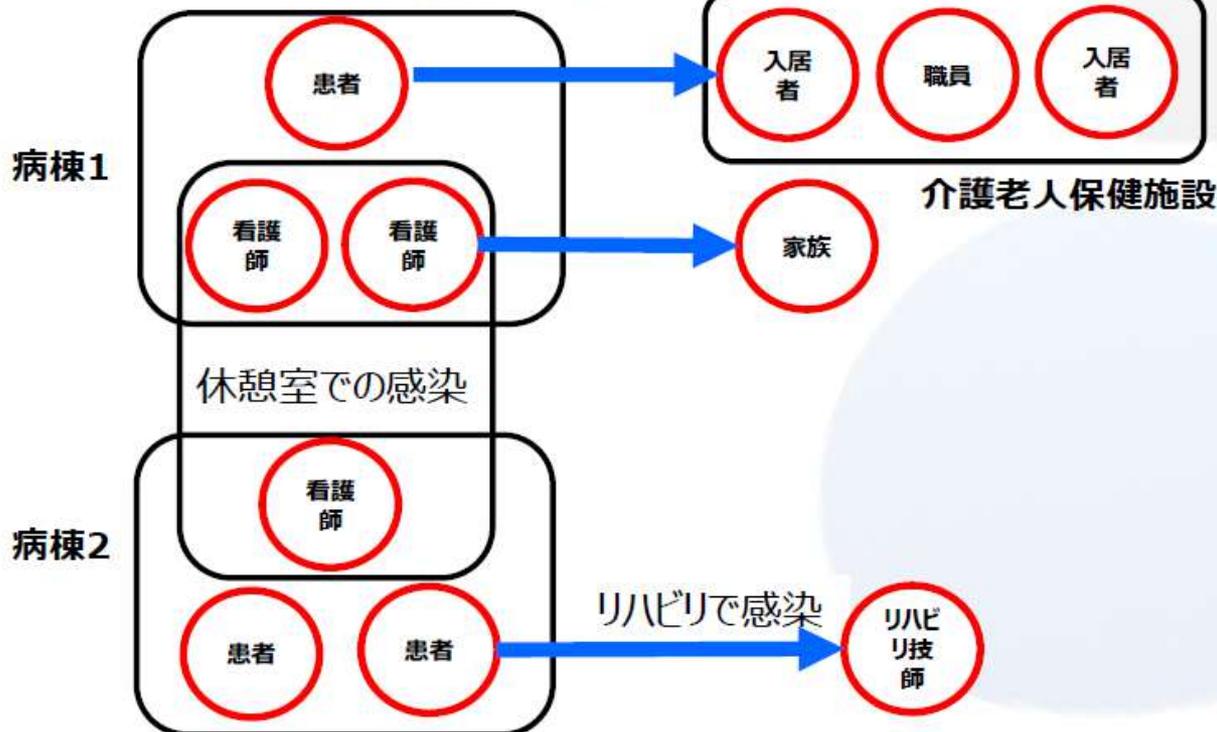
医療機関、高齢者施設での クラスター発生



院内感染クラスター

職業・属性

感染に気付かないまま
施設へ退院



分かったこと

- ・処置やリハビリ時の感染対策の不徹底による職員の感染
- ・休憩室など換気が悪く、密な場所での感染
→別病棟への広がり
- ・感染に気付かないまま、施設へ退院、退院先で感染波及

- ・標準予防策、経路別感染予防策の徹底
- ・有症状者の早期探知
- ・院内の3密を減らす工夫
- ・転院、退院時の情報共有

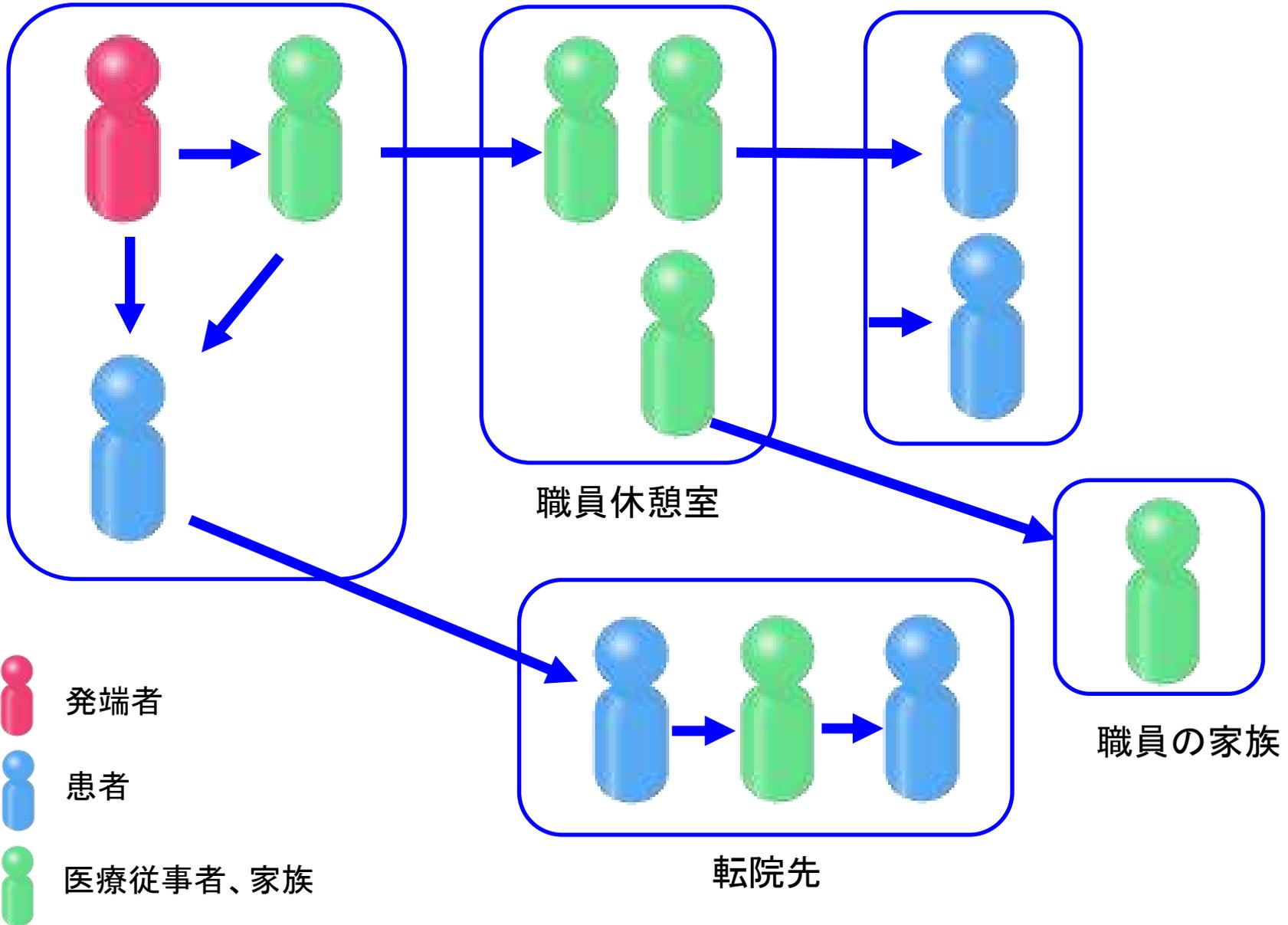
クラスター事例集

国立感染症研究所感染症疫学センター

国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース(FETP)

A病棟

B病棟



高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

POINT！

三つの「黙」

- 1 食事の時は距離を保って黙って食べる
(会話は食事後、マスクを着けて)

黙食

- 2 職員は休憩、更衣時でもマスク着用、
喫煙所では話さない(徹底してください)

黙煙

- 3 脱衣所では距離を保って黙って入浴
(職員は目の保護とマスクの着用)

黙浴

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

(3ない運動)

監修：川村 英樹
国立大学病院感染制御センター長

持ち込まない

利用者

- 通所サービスは、体調が悪い時は利用を控えよう
- 家族の体調や、県外との往来にも気をつけよう

持ち込ませない

施設

- 体調の悪い職員は必ず休ませよう
- 体調の悪い入所者・職員は、早めに医師に相談を
- 面会はリモートで
- 感染リスクが高まる「5つの場面」を避けよう

【感染リスクが高まる5つの場面】

- ① 飲食を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

拡げない

施設

- 食事の時は、距離を保って、黙って食べよう
- 職員は休憩、更衣時でもマスク着用、喫煙スペースでも会話を控えよう
- 脱衣所では、距離を保って話さない、入浴介助も会話を控えよう
- 職員はマスク着用を徹底しよう（利用者さんにも協力を）

- 標準予防策

- 密な環境を防ぐ

標準予防策とは、すべての人は伝播する
病原体を保有していると考え、患者および
周囲の環境に接触する前後には手指衛
生を行い、血液・体液・粘膜などに曝露す
るおそれのあるときは個人防護具を用い
ることである。

標準予防策

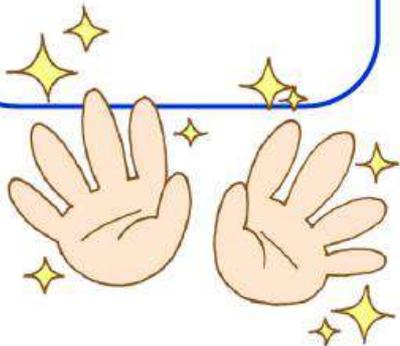
手指衛生



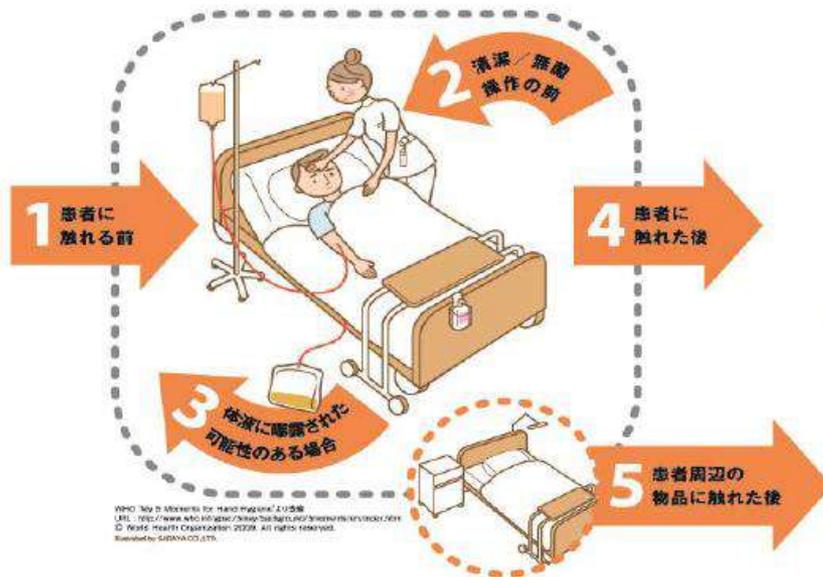
手指衛生 5つのタイミング 意識して手指衛生を実施しよう！

☆患者に接する前
☆血圧測定、体温測定、
脈拍測定の前
☆胸部、腹部聴診の前など

医療エリアの汚染を患者
ゾーンに持ち込まない。
患者対応はきれいな手で！



☆入浴や清拭の前
☆口腔ケアの前 ☆口腔内吸引・気管内吸引の前
☆創部ドレッシング交換の前
☆採血前、投薬前など



☆口腔ケアの後
☆口腔内吸引・気管内吸引の後
☆創部ドレッシング交換の後
☆尿・便・嘔吐物进行处理した後など



☆移動介助の後
☆入浴や清拭の後
☆血圧測定、体温測定、脈拍測定の後
☆胸部、腹部聴診の後など

患者ゾーンの汚染を医療エリア
に持ち込まない。



☆ベッド・リネン交換の後
☆点滴速度調整の後
☆アラーム確認した後
☆ベッド柵、床頭台に触れた後など



手指衛生 5つのタイミング 意識して手指衛生を実施しよう！

- ☆清潔な作業をする前
- ☆食事の前

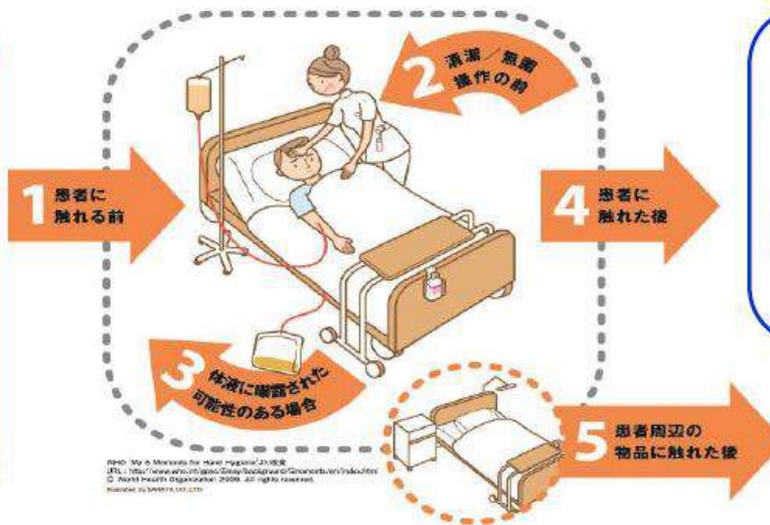
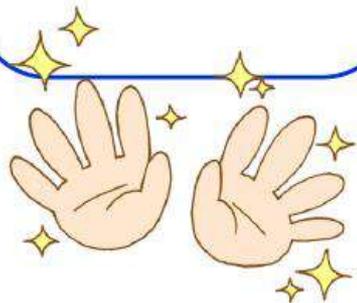
調剤、調理・配膳などを行う時には必ず手指衛生を実施しましょう！



- ☆患者の病室に入る
 - ☆患者に接する前
- 患者指導、面談、患者に用事があり訪室する時は必ず手指衛生を実施しましょう！

医療エリアの汚染を患者ゾーンに持ち込まない。

患者対応はきれいな手で！



- ☆患者の病室を出た後
 - ☆患者に接した後
- 患者指導、面談、患者への用事が終り病室出た後は必ず手指衛生を実施しましょう！
- 患者ゾーンの汚染を医療エリアに持ち込まない。

- ☆患者周辺の環境、物品に触れた後
- ベッド、ベッド柵、床頭台などに触れた後は必ず手指衛生を実施しましょう！



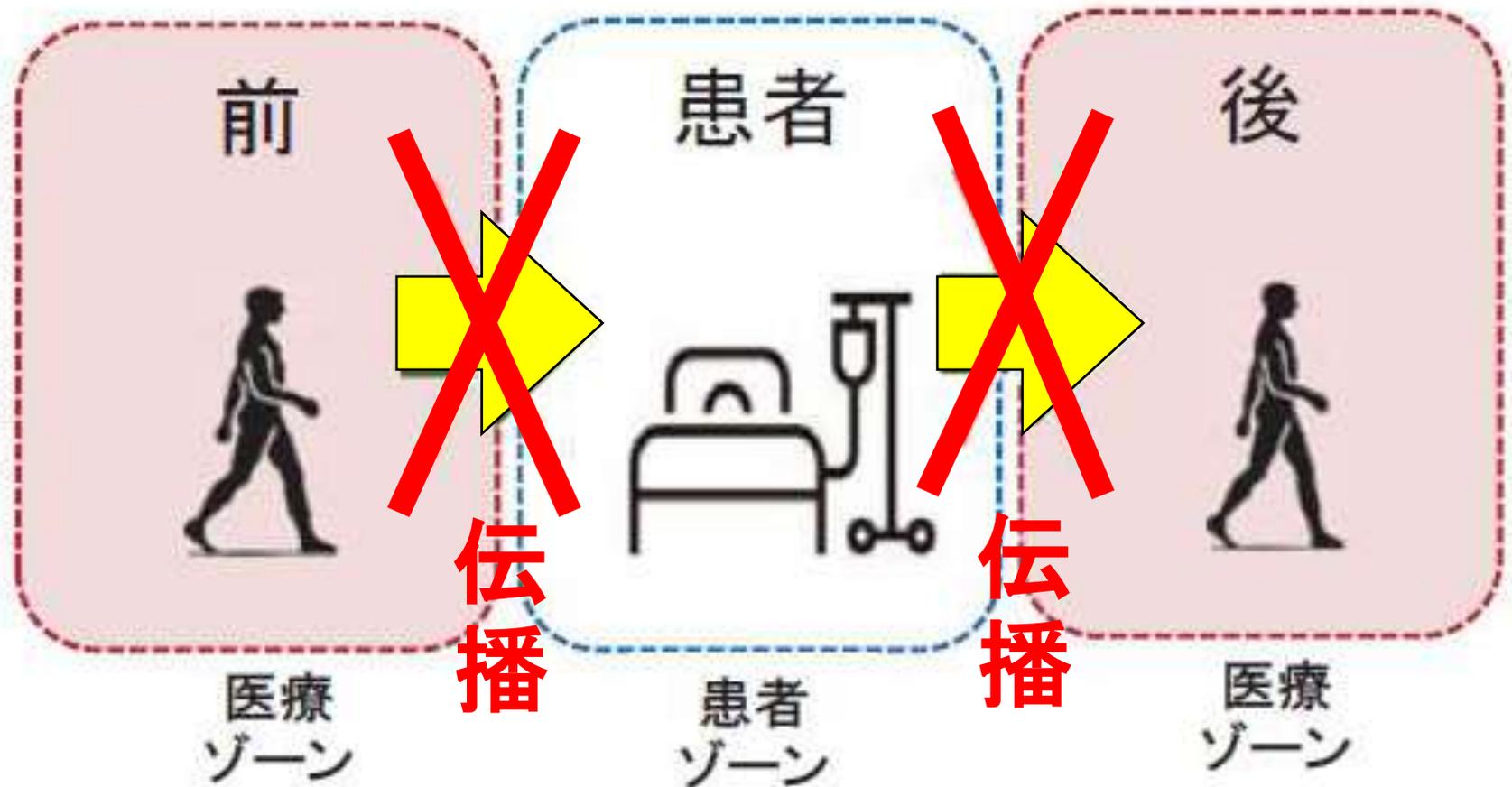
- ☆嘔吐物、便、尿などの排泄物を処理した後
- ☆トイレの後

ノロウイルスを考慮し『流水と石鹸で』で手を洗いましょう。



患者対応前後

手指衛生を徹底しましょう！



自施設の**手指衛生**の実施状況



手指衛生できる**環境を整備**

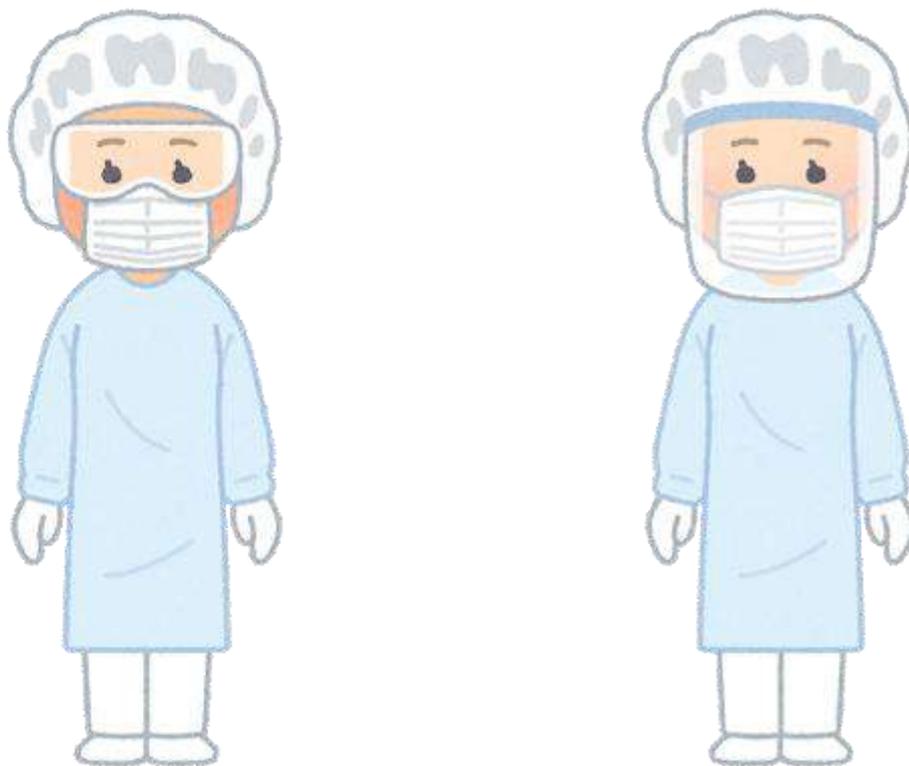
- ・流水と石鹸による手洗いができる場所
- ・手指消毒剤の設置場所
- ・手指消毒剤は人の動線を考慮し設置



手指消毒剤の携帯義務化(全職員)と 毎日の手指消毒剤使用量測定



個人防護具

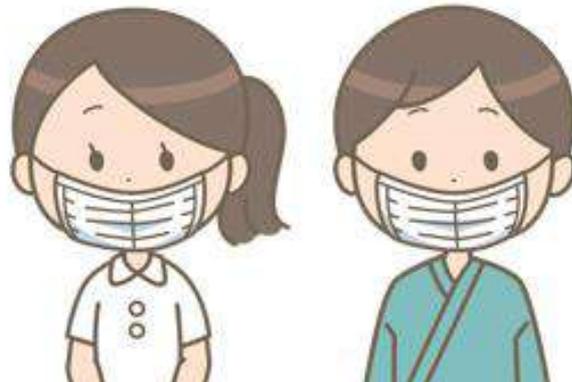


鼻出しマスク！



ユニバーサルマスクキング

- ・新型コロナウイルス感染症の流行で**マスクの使用目的**は大きく変化した。
- ・自分が感染者であった場合、周囲の人々を感染させない。
- ・医療機関 **院内にいるすべての人々**はマスクを着用するように推奨されるようになった。



院内では**マスク**の
着用をお願いします。



新型コロナウイルス感染例の**約40%**は
無症状の感染者からとされています。

全ての人を**感染から守るため**マスク着用
にご協力ください。

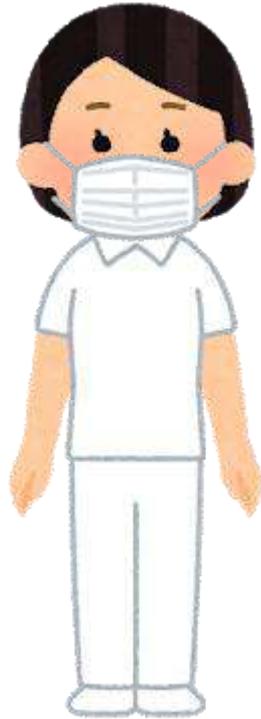
1. 病室を出るとき
(例: トイレ、洗面、デイルーム、リハビリ、検査など)
2. ヒトと至近距離で接するとき
(例: 面会、診察、検温、看護ケア、リハビリなど)

外来・入院患者さん、ご家族
業者、職員など**すべての方へ**

院内では
マスクの着用を
お願いいたします。



個人防護具着用例



検温
適宜手指衛生



食事介助
適宜手指衛生

新型コロナウイルスは
口、鼻（目）から侵入します。



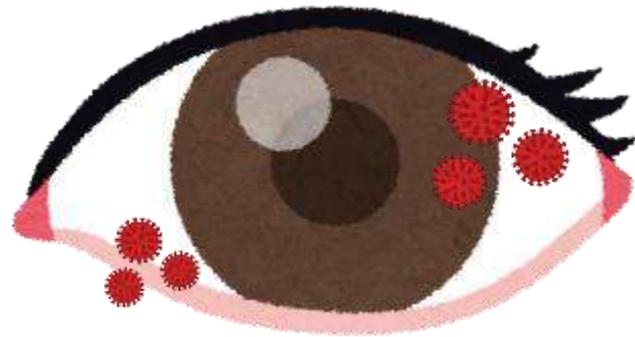
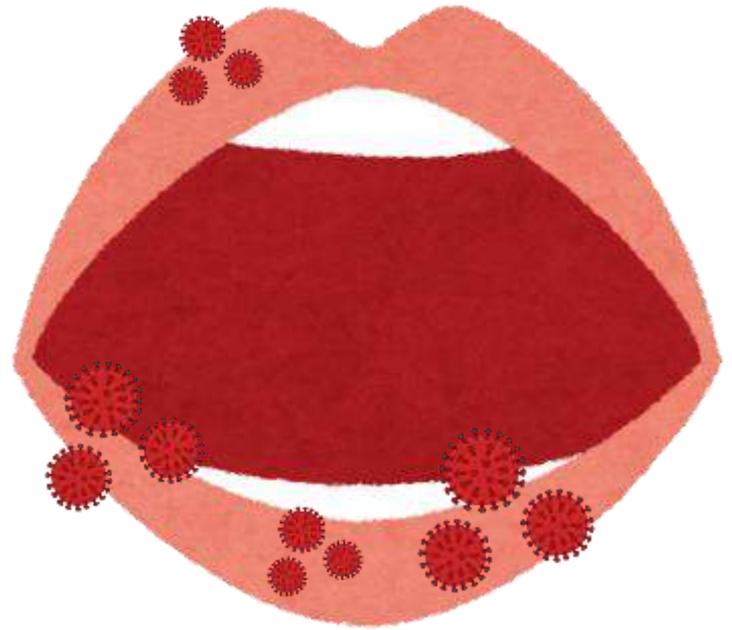
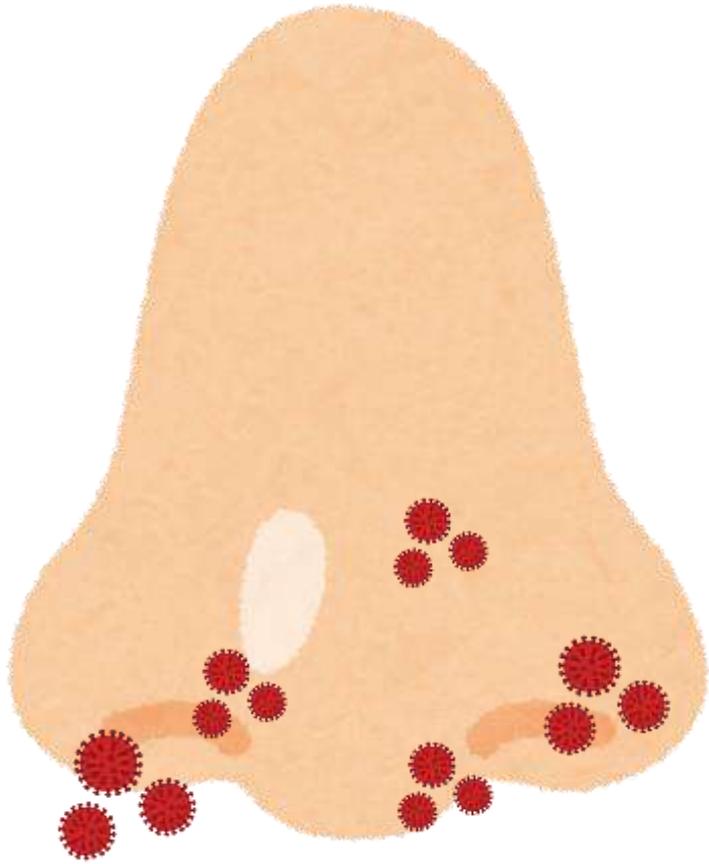
マスクなしでの
至近距離での対応

喀痰吸引時

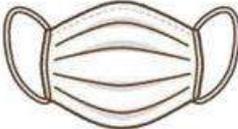
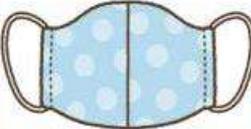
気管内挿管

口腔ケア時

フェイスシールドを着用しましょう！



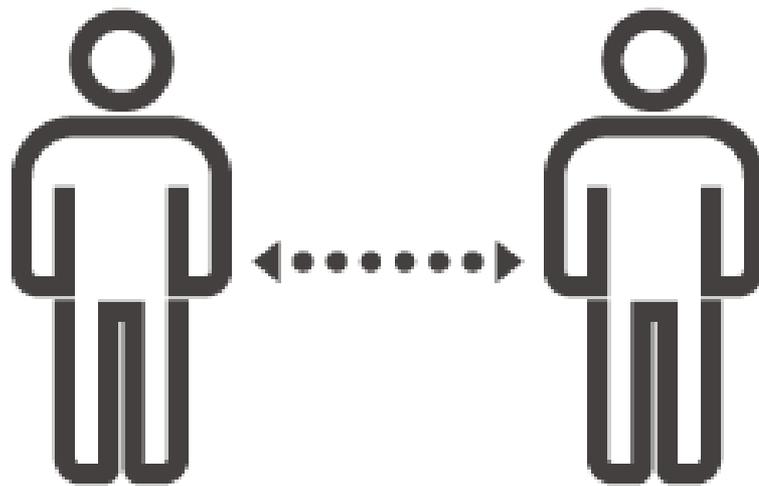
■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量					
	100%	20%	18-34%	50%*2	80%	90%*2
	吸い込み飛沫量					
	100%	30%	55-65*2	60-70%*2	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

*2 豊橋技術科学大学による実験値

密な環境を防ぐ

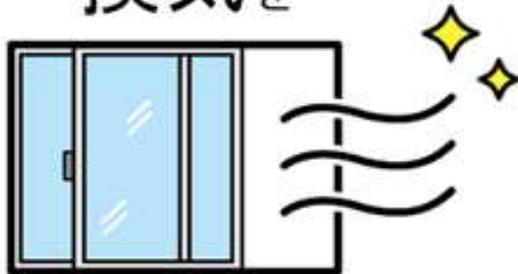
ソーシャルディスタンスの確保
飛沫感染防止対策



食事中は**会話**は控えましょう。



換気を



食事の際は**対面**で座らない。
人との**距離**を**十分**とりましょう。



黙食

ご協力をお願いいたします。

食事中の会話は飛沫による感染リスクが高いとされています。

1	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

THU	FRI	SAT
4	5	6
11	12	13
18	19	20
25	26	27
	5	6

5	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

買取する
科器械
095) 代表 252-7733
099) 252-7738

- 手指衛生をできる環境は整備されているか。
- 手指消毒剤はどれくらい使用されているか。
- 患者さんに接する前後で実施できているか。
- 手指衛生の手技は正しいか。
- 職員のマスクは正しく着用されているか。
- 食事介助など、ケア時の個人防護具着用は適切か。
- 職員休憩室での対応は守られているか。



コロナ禍をチャンスにかえる

移動や外出は
“密”を避けて



体調が悪い日は
無理せず休もう



会話や食事は
十分な距離を



自分のために
みんなのために



目鼻口を
さわらない



WITH CORONA

こまめな換気で
きれいな空気を



うがい手洗い
念入りに



咳やくしゃみは
エチケットを



身の回りを
こまめに消毒



予防から働き方のかんがえる

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール

高齢者福祉施設用



生きるを、ともに、つくる。

公基社団法人 日本看護協会

5) 自主点検表 (高齢者福祉施設用)

実施できている項目に○を記載してください。

チェック項目：感染対策の基本		備考
(例)	玄関ロビーに手洗い啓発ポスターを掲示している	○
手指衛生	手洗い場ハンドソープとペーパータオルがある	
	アルコールベースの手指消毒剤を設置している、または携帯型手指消毒剤を持参している	
個人防護具	マスク、手袋、ガウン、目を守るためのゴーグルやアイシールド、フェイスシールド等がある	
	個人防護具の正しい着脱についての実技訓練を行っている	
環境整備	環境消毒用の次亜塩素酸ナトリウムや消毒用エタノール含有の濃縮用ワイプがある	
3密を避ける	レクリエーションや食事の部屋、浴室等入所者（または利用者）が密にならないよう、2m程度離している	
	職員の仕事室、更衣室、仮眠室において密にならないよう、時差勤務等工夫している	
換気	窓を開ける、強制換気を行う等換気をしている	
健康管理	【入所者（または利用者）】11日1回以上検温を行い温度版（熱型表等）に記載している	
	【職員】出勤前に検温している、体調が悪い時は出勤していない	
チェック項目：管理		備考
物品の確保	個人防護具、ハンドソープ、ペーパータオル、消毒剤、手指消毒剤等の在庫量を把握している	
	個人防護具、手指衛生用品を備蓄している	
	物資が不足した時の対応を決めている	
関係者の連絡先確認	感染症発生時に連絡をする保健所や関係先の連絡先を把握している	
チェック項目：発生時の対応		備考
発生時のシミュレーション	感染者発生時の個室隔離、生活空間の区分けを検討している	
	生活空間の区分けにより汚染区域が分かるように表示している	
	個人防護具を着る場所、脱ぐ場所を決めている（ゾーニング）	
	感染者や濃厚接触者と入所者（または利用者）の食事場所、生活場所、トイレ等を分けている	
	濃厚接触者等および他の入所者（または利用者）のケアを受け持つ担当者を分けている	
	職員が不足した場合、勤務体制の変更、応援職員派遣の対応がある	
検体採取場所	検体採取を行う場所を保健所と相談し決めている	
	検査する場所まで、濃厚接触者と他の入所者（または利用者）が接触しないよう動線が分かっている	
	検体採取場所は、換気ができ採取後は環境消毒を行う準備がある	
面会制限・入館者管理	家族の面会名簿、出入りする外部来客等の名簿がある	
	流行時から面会制限を行っている	
	面会制限について入所者（または利用者）、家族へ説明している	
情報の共有	感染者が発生した場合の対策について入所者（または利用者）、家族、保健所、協力医療機関等と共有している	

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール

中小規模病院用



生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

5) 自主点検表 (中小規模病院用)

実施できている項目に○を記載してください。

チェック項目：感染対策の基本		備考
(例)	玄関ロビーに手洗いや消毒液を掲示している	○
手指衛生	手洗い機とハンドソープとペーパータオルがある	
	アルコールベースの手指消毒液を設置している、または専用型手指消毒液を掲示している	
個人の護具	マスク、手袋、ガウン、目を守るためのゴーグルやアイシールド、フェイスシールド等がある	
	個人の護具の正しい着用についての実施訓練を行っている	
環境整備	環境消毒用の次亜塩素酸ナトリウムや消毒用エタノール含有の消毒用ワイプがある	
3密を避ける	外来や面談診断部門、中央採血室、生理機能検査部門、デイルーム等は、患者が密にならないよう、2m程度離れるよう工夫している	
	職員の仕事室、更衣室、仮待室において密にならないよう、特設勤務等工夫している	
換気	窓を開ける、強制換気を行う等換気をしている	
健康管理	【患者】1日1回以上検査を行い、発熱や咳等の症状の有無を把握し、カルテに記載している	
	【職員】出勤前に検査している。体調が悪い場合は出勤していない	
チェック項目：管理		備考
物品の確保	個人の護具、ハンドソープ、ペーパータオル、消毒液、手指消毒液等の在庫量を把握している	
	個人の護具、手指衛生用品を備蓄している	
	物資が不足した時の対応を決めている	
関係者の連絡先確認	感染症発生時に連絡をする保健所や関係先の連絡先を把握している	
チェック項目：発生時の対応		備考
発生時のシミュレーション	感染者発生時の個室隔離を検討している	
	汚染区域が分かるように表示している	
	個人の護具を着る場所、脱ぐ場所を決めている（ゾーニング）	
	感染者や濃厚接触者や患者の病室（トイレ等を含む）または病棟を分けている	
	感染者や濃厚接触者や他の患者のケアを受け持つ職員を分けている	
検体採取場所	職員が不足した場合、勤務体制の変更、必要職員派遣の対応がある	
	検体採取を行う場所を決めている	
	検査する場所まで、濃厚接触者や他の患者が接触しないよう動線が分かっている 検体採取場所は、換気ができ採取後は環境消毒を行う準備がある	
面会制限・入館者管理	家族の面会名簿、出入りする外部業者等の名簿がある	
	流行時から面会制限を行っている 面会制限について患者、家族へ説明している	
情報の共有	感染者が発生した場合の対応について患者、家族、保健所、協力医療機関等と共有している	

nakano@sendaihp.jp

感染制御部門 中野



参考文献

1. 新型コロナウイルス対策Q&A68 INFECTION CONTROL 2021年春季増刊 メディカ出版
2. 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き第4.2版
3. 新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド
4. 新型コロナウイルス感染症に対する感染管理
5. 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド
6. 一般社団法人日本感染症学会提言 今冬のインフルエンザとCOVID-19 に備えて
7. 高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版 2019年3月 厚生労働省
8. 新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール 日本看護協会

